



軸首

41

桐に鳳凰之図

川端玉章

1幅

明治33年(1900)

絹本着色 145.0×234.0

三の丸尚蔵館

文部省高等官一同より献上された作品。鳳凰は中国では古くから百鳥の王として天子の象徴とされてきた瑞鳥である。玉章はこの鳳凰を、本紙だけで縦145、横234cmにおよぶ巨大な掛幅に描き出し、祝意を表現した。また象牙製の軸首は、玉章と同じく東京美術学校教授の彫刻家石川光明の手によって「不老長春」を意味する松と薔薇が刻まれている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018
The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan
Imperial Household Agency